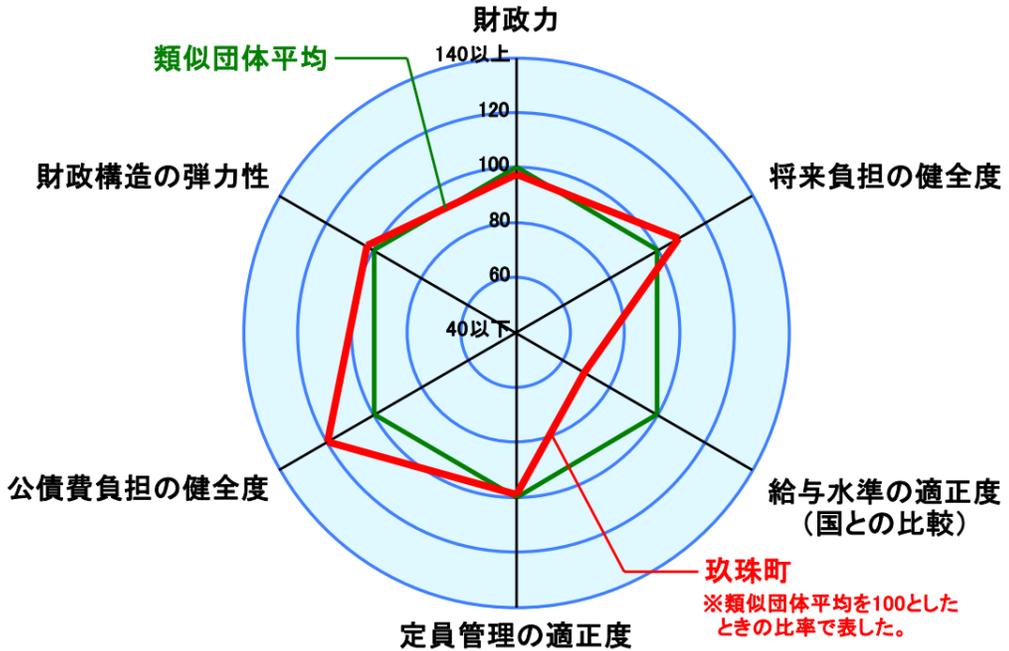
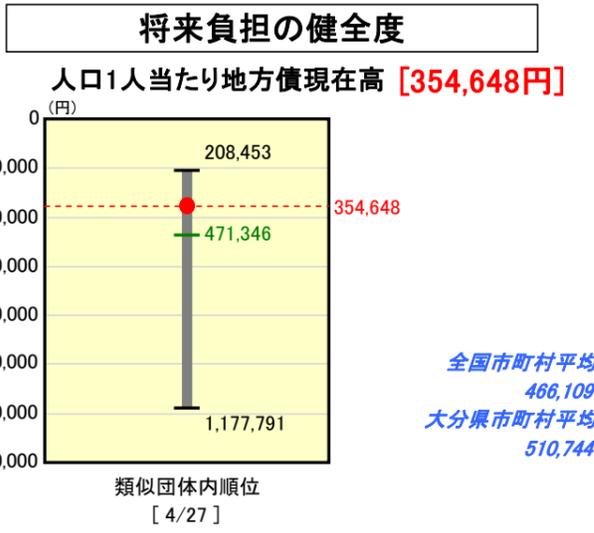
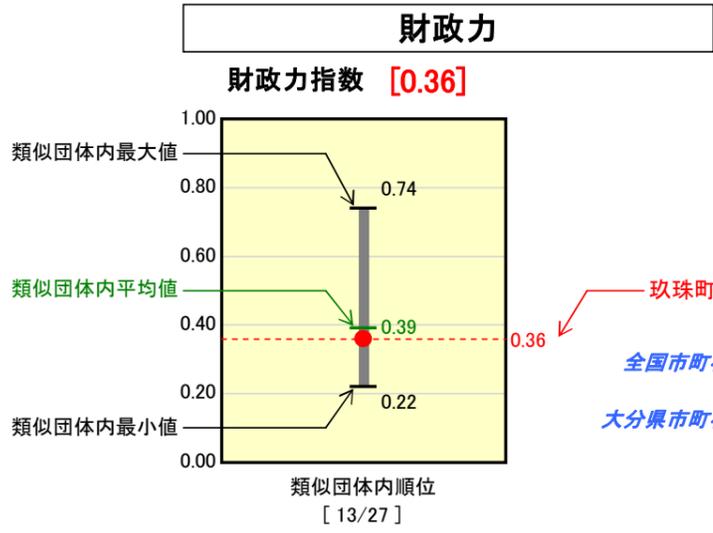


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 大分県 玖珠町

人口	18,964人(H17.3.31現在)
面積	286.44 km <sup>2</sup>
歳入総額	8,118,987千円
歳出総額	7,837,693千円
実質収支	277,230千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数** : 長引く景気低迷による個人・法人関係の減収、また人口の減少等に加え、町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、0.36と類似団体平均を若干下回っている。町税等の収入確保、使用料・手数料の見直し等を中心とする歳入確保に努め、財政基盤の強化を図る。

**経常収支比率** : 普通交付税・臨時財政対策債の減少等により、対前年度比3.3%上昇の88.8%となっている。全国及び大分県内市町村平均は下回っているものの、扶助費・繰出金等増加傾向にある。今後とも事務事業の見直しを更に進め、人件費等義務的経費の削減(平成20年度までに15名以上の職員定数の減等)、各種団体への補助金の削減等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、指定管理者制度の活用等により、経常経費の削減に努める。

**起債制限比率** : 適量・適切な事業実施により対前年度比1.0%低下し、類似団体平均を大きく下回る5.6%となっている。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

**人口1人当たり地方債現在高** : 現在のところ類似団体平均を下回っているが、17年度に国体ホッケー場建設が進んでおり、新規の地方債発行額(508百万円)が見込まれる。今後とも地方債発行額の上限枠設定、発行の抑制等により、類似団体の平均を上回ることがないように財政の健全化に努める。

**ラスパイレス指数** : 現在の給料表は年功的な体系となっており、上下の職務の級間での重なりも大きいものとなっている。こうした年功的な要素が強い現在の給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る。

**人口1,000人当たり職員数** : 平成17年3月に策定した行財政改革の計画に基づき、平成30年の人口を15,000人として、事務事業の見直しや組織機構の改革、5年毎の退職者推計による完全補充を行わず、現在の職員数を200人から50人以上削減する。

